



会派みどり
渡邊 龍之

基金の考え方について

質問 事務事業の見直し、公共施設の在り方など、あらゆる見直しを図っているが、基金からの繰り入れがなければ予算が成立しない。繰り入れをしないで予算編成ができるために必要と考えられる取り組みについて伺う。

答弁 繰り入れをしないで予算編成できるための取り組みとしては、平成27年度に策定した財政健全化計画による事務事業の組織人件費の見直しと歳入確保対策を完全実施することであると考えています。

人口減による税収への影響や地方交付税の減少、幼児教育無償化による地方負担額の増大の可能性など、国の政策によってますます地方負担が拡大し、極めて厳しい財政状況となることが想定されますが、まずは財政健全化計画最終年度としてしっかり進めていき、引き続き市全体の創造と工夫を

持つて持続可能な財政運営に努めていきたいと考えています。

組織の一本化について

質問 少子高齢化が進む中で、それぞれの所管で事業展開されている。高齢化対策を取っても包括支援の部分や町内会活動の部分が関係している。縦割りの組織運営でなく横断的な対応が求められ、窓口や電話対応の情報が関係所管で共有されるべきと考えるが見解を伺う。

答弁 限られた職員数で効率的かつ効果的に行政運営を進めていくためには、全職員が「チーム滝川」の意識を持って、一体感のある組織となるべく、横断的な考えを持ち対応していくことが求められていると考えます。

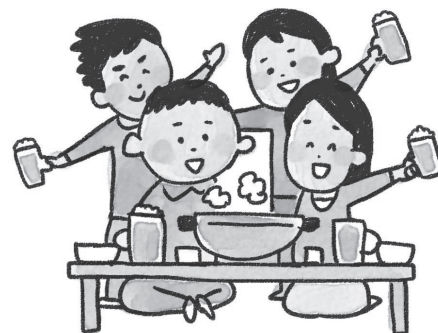
新採用職員研修では、所属の異なる職員同士がお互いの業務に対する理解を深め、横断的な考えを持つことができるような取り組みなどを行っています。なお、複数課にまたがる問い合わせについても、情報共有により市民の皆さんになるべく負担をかけないように柔軟な対応に努めていきます。

地元酒等の利用促進を図り、市内産業の活性化を図ろう！

滝川市乾杯条例を制定



平成30年12月第4回定例会で議員提案により、地元酒等の利用促進を図り、市内産業の活性化を図るため滝川市乾杯条例が制定されました。



滝川市の特産の酒等で乾杯することをお勧め、それを市民、市、事業者それぞれが促進に努めることを旨として制定した条例です。滝川産のビールなどの消費拡大と市内産業の活性化を目的としているもので、拘束力や罰則などはありません。

滝川クラフトビールやりんごの発泡酒、もちろんソフトドリンクのトマトジュースやりんごジュースでもOKです。

みんなで楽しく乾杯して特産品を盛り上げましょう！